

関西大学人権問題研究室

第47回 公開講座

軽度発達障害を伴う子どもの理解と対応

日時 2006年10月27日（金）13：00～14：30

場所 千里山キャンパス 総合図書館ホール

人権問題研究室研究員・文学部専任講師

講師 加戸 陽子 (かど・ようこ)

気が散りやすい、そわそわと落ち着きがない、自分の気持ちをうまく人に伝えたり、相手の気持ちを理解することが難しい、ついちょっかいを出してしまう、良好な人との関係を築くことが難しい、からかわれやすい、という問題を抱え、周囲から理解されにくく誤解されやすい障害として、軽度発達障害がある。軽度発達障害とは、注意欠陥/多動性障害や学習障害、広汎性発達障害という知的には顕著な遅れが認められないにもかかわらず、日常や学校生活ではその能力から期待されるものよりも種々のつまづきを生じやすい障害である。

現在こうした軽度発達障害を伴う子どもたち一人ひとりの特性の理解とそれに応じた支援が求められ、特に教育現場では適切な教育的支援の実施という重要な役割が求められているといえる。しかし、軽度発達障害を伴う子どもたち一人ひとりが抱えている問題は同じ障害名と診断されていても随分と多様であるために、本人のわがままではないのか、もしくはしつけの問題ではないのか、などと周囲は戸惑い、適切な理解を得られにくいのが実情といえる。

この公開講座では注意欠陥/多動性障害や学習障害、広汎性発達障害という各種発達障害の臨床的な特性についての解説から、子どもたちの抱える困難についてのとらえ方、諸特性にもとづいた支援のあり方について触れていきたい。

* * *

●聴講無料 予約は不要です。多数のご来場を歓迎します。

第48回 11月24日（金）「女人禁制」からジェンダーを問う 委嘱研究員 源 淳子

時間：13時～14時30分 場所：総合図書館ホール

主催

関西大学人権問題研究室

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 Tel 06-6368-1182

阪急千里線「関大前」駅下車

ホームページ <http://www.kansai-u.ac.jp/hrs>